

令和6年度雪崩災害防止セミナーの開催概要

開催主旨：

我が国は世界でも有数の雪の多い国です。国土面積の半分以上が豪雪地帯として指定されており、そこで約1,800万人が生活を営んでいます。豪雪地帯は、北海道、東北、日本海沿岸及び山間部にわたって指定されており、これらの地域では大量の降雪だけでなく、雪が生活に様々な影響を及ぼしています。特に、山間部の住民にとって雪崩は大きな脅威であり、生活への影響のみならず、犠牲者を伴う被害も少なくありません。

令和5年度の冬期間は、冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の流れ込みが弱く、また2月を中心に南から暖かい空気が流れ込んだ時期がありました。このため、気温は全国でかなり高くなり、北日本日本海側でかなり少なく、東・西日本日本海側で少ない降雪量となりました。しかし、気温の変動が大きくなり、1月下旬に北日本から西日本の日本海側を中心とした広い範囲で大雪となったほか、普段雪の少ない東海地方や近畿中部、近畿南部の平地でも大雪となり、短時間で降雪が強まった地域では、大規模な交通障害が発生しました。2月上旬には関東甲信地方を中心とした広い範囲で大雪となり、道路の通行止めや鉄道の運行見合わせなど、交通網を中心に大きな影響をもたらしました。

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。その一環として、雪崩災害について理解を深めることを目的としたセミナーを下記のとおり開催します。

記

1. 日時・会場・開催方法

開催日：令和7年1月15日（水） 13:30～16:00

会場：山形県 生涯学習センター 遊学館 山形県山形市緑町1丁目2-36

(<http://www.gakushubunka.jp/yugakukan/>)

開催方法：対面

2. 開催機関

主催：全国地すべりがけ崩れ対策協議会

共催：山形県

協賛：雪崩防災週間推進協議会

3. 参加費・参加申し込み

参加費：無料

申込方法：下記申込フォームよりお申込みください。

対象：自主防災組織の役員など地域防災に携わる方、雪崩対策に関わる行政担当者、民間コンサルタント等の技術者及び興味のある方

申込期限：令和6年11月25日（月）～令和6年12月27日（金）

<下記のURLの申込用フォームからお申し込みください>

https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13737

※以下のQRコードからも申込用フォームにアクセス可能です。



4. プログラム

開 会		(13:30~13:35)
開催挨拶	山形県	
来賓挨拶		(13:35~13:40)
来 賓	国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 草野 慎一	
雪崩災害防止セミナー		(13:40~15:50)
<<基調講演>>		
「粒状体としてみた雪崩の運動」		(13:40~14:30)
山形大学 理学部		
准教授 常松 佳恵		
<<休 憩>>		(14:30~14:40)
<<話題提供>>		
「北海道の雪崩対策事業について」		(14:40~15:00)
北海道 建設部 土木局 河川砂防課		
砂防係 主任 石黒 友紀		
北海道 留萌振興局 留萌建設管理部		
事業室 事業課 主任 石山 泰之		
「土木研究所雪崩・地すべり研究センターにおける最近の雪崩研究の取り組み」		(15:00~15:25)
国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ		
雪崩・地すべり研究センター 上席研究員 吉柳 岳志		
「新庄雪氷環境実験所における雪害研究の概要」		(15:25~15:50)
国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター		
新庄雪氷環境実験所 主任研究員 根本 柁樹		
次年度開催県挨拶		(15:50~15:55)
次年度開催県	福島県	
閉 会		(15:55~16:00)
閉会挨拶	全国地すべりがけ崩れ対策協議会	

5. その他

雪崩災害防止セミナーは、(一社)建設コンサルタンツ協会CPDプログラムに認定予定です。

6. 問い合わせ先

山形県 県土整備部 砂防・災害対策課
担当：内田、幸田 TEL：023-630-2633